

2023年度環境活動レポート

認証・登録番号:0003247
(2009年 1月16日 登録)

(期間:2023年 4 月 1 日～2024年 3 月 31 日)



カネカフォームプラスチックス株式会社

2024年 6月 3日

目 次

1. 会社概要
2. 対象範囲
3. 環境方針
4. 中期環境目標
5. (1). 2023年度環境活動計画
 (2). 実施体制
 (3). 役割、責任、権限
6. 2023年度取り組み結果と評価
7. 2024年度環境活動計画
8. 環境関連法規等の遵守状況及び評価結果並びに違反、訴訟等の有無
9. 代表者による全体評価と見直し

1. 会社概要

1. 本社及び営業所

東京本社

代表取締役社長 鈴江 泰博

〒112-0004

東京都文京区後楽一丁目1番7号

名古屋営業所

〒461-0008

名古屋市東区武平町五丁目1番地

春日井営業所

〒486-0965

愛知県春日井市味美上ノ町2050-1

大阪営業所

〒595-0033

大阪府泉大津市板原町1-10-28

滋賀営業所

〒525-0071

滋賀県草津市南笠東四丁目6番8号

兵庫営業所

〒674-0051

兵庫県明石市大久保町大窪2694-1

2. 加工所・製造拠点

真岡工場(2022年の審査時よりサイト認証に移行)

〒321-4367

栃木県真岡市鬼怒ヶ丘1番

真岡工場長 伊藤 裕司

九州工場

〒823-0016

福岡県宮若市四郎丸533-25

大阪加工所

〒596-0033

大阪府泉大津市板原町1-10-28

滋賀加工所

〒525-0071

滋賀県草津市南笠東四丁目6番8号

兵庫加工所
〒674-0052
兵庫県明石市大久保町大窪2694-1

3. 環境関係の責任者及び連絡先

環境管理責任者	工場長 伊藤 裕司
連絡先	電話 050-3181-5970
	FAX 0285-84-0007

4. 事業の内容

発泡ポリプロピレン、発泡ポリエチレン成形品の製造販売

5. 事業の規模

項 目		2021年度	2022年度	2023年度
売上高(百万円)		1710	2058	2047
従業員数(人)	正社員	34	29	29
	契約社員	82	81	77
	派遣社員	14	16	32
工場敷地面積(m ²)		42,187	42,187	42,187
工場建屋面積(m ²)		15,152	15,152	15,152

2. 対象範囲

1. 認証・登録の業務

発泡ポリプロピレン、発泡ポリエチレン成形品の製造販売

2. 認証・登録の範囲

真岡工場 栃木県真岡市鬼怒ヶ丘1番
(2022年の審査時よりサイト認証に移行)

3. 当社が制定した環境経営方針

環 境 経 営 方 針

当社は、地球環境への負荷低減を目指した生産活動及び製品提供を行い、地球環境保全に貢献します。

1. 地球環境保全の重要性を認識し、環境に配慮した生産活動及び製品を提供することにより、社会貢献します。
2. 当工場の省エネ・効率化の向上を常に意識して取り組み、温室効果ガス排出量の削減に貢献します。
3. 環境保全に関する法令・協定、及び自主規制を順守します。
4. 生活活動において、次のように具体的目標に取り組みます。
 - (1) 省エネの促進、CO2排出量の低減
 - (2) 用水の有効活用、使用量の低減
 - (3) 廃棄物の有価物化・リサイクル化の促進及び分別
 - (4) 化学物質の適正管理及び使用量の低減
 - (5) 製品の収率向上
5. この方針は外部からの要求に応じて提供します。また、環境活動レポートを作成し公表します。

2024年 4月 1日

カネカフォームプラスチックス株式会社

真岡工場長 伊藤 裕司

4. 中期環境目標

	項 目		2022年度 実 績	2023年度 計 画	2024年度 計 画	2025年度 計 画
1	二酸化炭素排出量削減	原単位換算	5621	5900以下	5800以下	5700以下
2	産業廃棄物排出量削減	原単位換算	24. 7	19. 0以下	18. 0以下	16. 0以下
3	リサイクル量増加に努める	減容化率	82. 0%	97%以上	97%以上	97%以上
4	節水に努める	原単位換算	312	358以下	355以下	355以下
5	化学物質の使用量削減に努める	原単位換算	0. 203	0. 25以下	0. 25以下	0. 25以下
6	環境関連法規による規制を遵守します	—	違反なし	違反なし	違反なし	違反なし
7	自社が生産する製品の不良率低減	不良率(%)	2. 9%	3. 0%以下	2. 9%以下	2. 8%以下

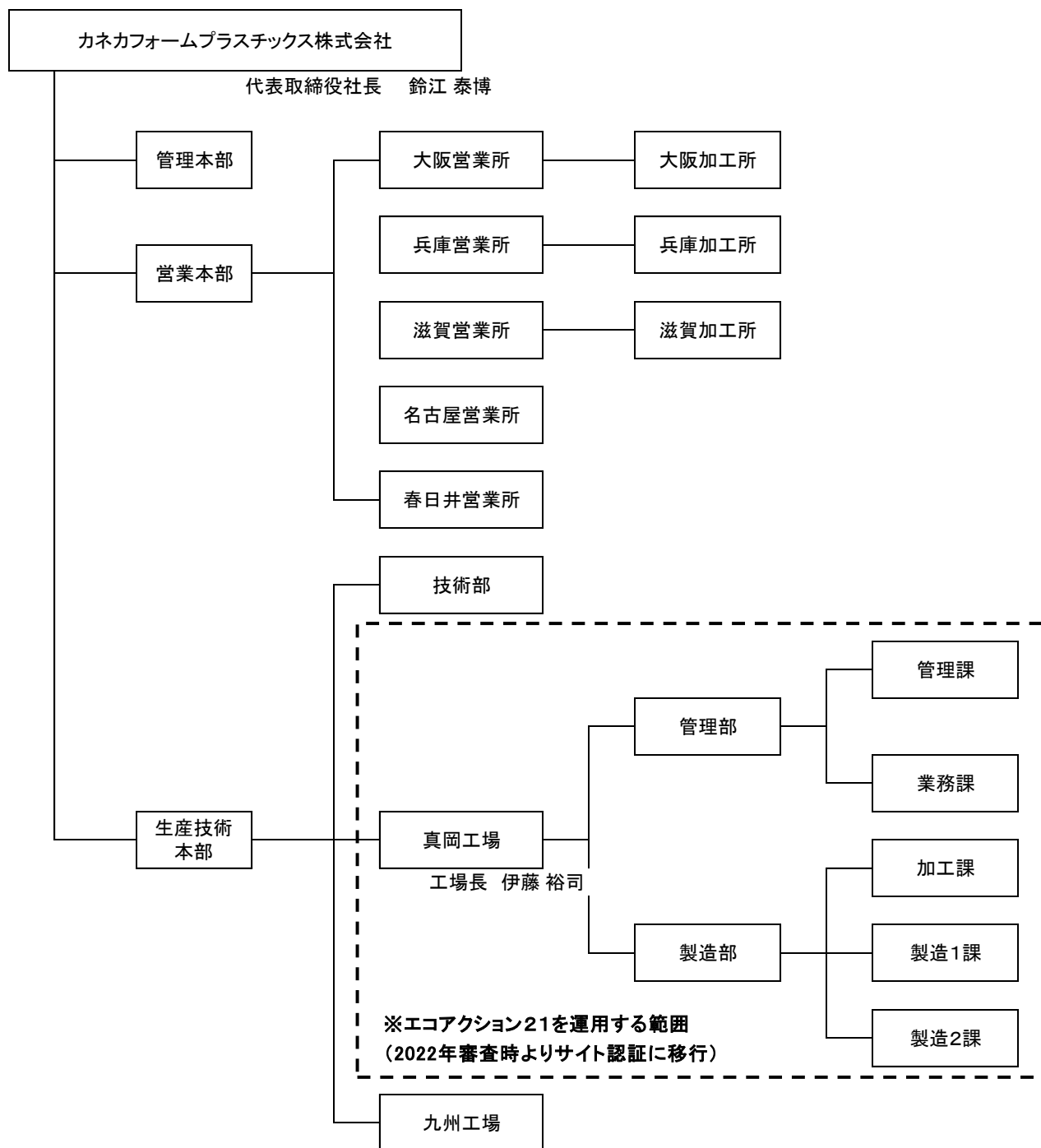
※ 原単位:製品(t)当りの使用量

※ Co2 排出量の試算における排出係数は、電気:0.457、都市ガス:2.19 を使用。

5. (1)2023年度環境活動計画

	環 境 目 標	環境活動計画
1	二酸化炭素排出量の削減を推進します。	① 省エネ成形方式の製品毎の最適条件設定と省エネ条件適合品種の拡大。 ① 不良品削減によるロスショット削減(継続)
2	産業廃棄物排出量の削減を推進します。	① 更新減容機の安定稼働と稼働率 up による有価物化の増加 ② 新粉碎機による低倍品の回収量増加 ③ 分別の徹底による有価物化の増加 ① ビーズのリサイクル化
3	廃棄物発生量の削減、リサイクル化を推進します。	① 成型工程での不具合品の早期発見と適時是正処置と再発防止策の実施 ② 台車積載時の割れ、欠け・汚れ防止策の検討と実施 ③ 品切廃棄ビーズの削減 ① カット端材のリサイクル化検討の支援
4	用水の有効活用、節水を推進します。	① 金型冷却水温維持と放流(ブロー)の温度管理の徹底
5	化学物質の適正管理、使用量削減を推進します。	① シューターのハンモック式への変更による油付着の低減(継続) ① 適性な離型条件調整による離型時油付着の防止
6	環境関連法規による規制を遵守します。	① 自社チェックシートに基づき確認 ① 大気、排水、騒音に関する環境測定値に関しても定期的かつ継続的に確認
7	自社が生産する製品の収率向上を推進します。	① 工程検査員の工程巡回による不具合品の早期発見及び流出防止(継続) ① 欠員補充の実施(継続)

(2) 2023年度実施体制



(3)役割、責任、権限

責任者	役割・責任・権限
工場長	①環境経営マニュアルの承認 ②環境経営活動レポート、環境関連法規制一覧表、工場長対象のエコアクション21関連文書類(文書・記録)の承認 ③環境経営方針、環境経営目標の決定・承認 ④エコアクション21の取組みに必要な経営資源(要員、予算、技術)の確保 ⑤環境管理責任者の選任、各部署責任者の指名 ⑥工場長による全体の評価と見直し(マネジメントレビュー)の実施 ⑦環境経営目標・実施計画及び報告書の達成状況の評価・承認 ⑧不適合、苦情等に係わる是正・予防処置計画及び処置結果の承認 ⑨環境に係わる法令の主管部署の決定と必要な法的資格者の選任
環境管理 責任者	① エコアクション21全体活動の推進と維持・向上 ② 環境経営活動計画の策定 ③ 環境経営目標、エコアクション21関連文書・記録の立案 ④ 環境経営方針、環境目標、エコアクション21活動等の全メンバーへ周知 ⑤ 環境への負荷や環境への取り組みの集計、自己チェックの取りまとめ ⑥ 想定緊急事態の提案及び対応手順の確認 ⑦ 想定緊急事態に対する訓練計画の策定・実施 ⑧ 工場全体の環境関係法令への対応・順守と管理に関する業務 ⑨ マネジメントレビューインプット情報、改善のための提題のまとめ 。 工場共通のエコアクション21関連文書・記録の管理
部署責任者	①事故及び緊急時の行政機関、対外関係者への情報伝達及び対応窓口業務(主に管理部主体) ②各部署関連環境経営目標・環境経営活動計画の推進、進捗報告 ③環境への負荷や環境への取り組みの集計、自己チェックのデータ収集 ④部署内へのエコアクション21関連の運用、活動の浸透及び改善推進 ⑤従業員への教育訓練を計画実施 ① 部署関連のエコアクション21関連文書・記録の保管と維持 ② 法対応等の監視・測定の実施と適合性判定及び記録の維持 ③ 不適合、苦情等に係わる事項の是正・予防処置及び有効性の確認 ⑨必要に応じて、個別作業標準書等の制定及び改廃を実施 ④ 各部署の自主的管理担当者の指名

6. 2023年度取組み結果と評価

	環境目標	実績	判定	評価
1	二酸化炭素排出量削減。 (目標値:5900以下)	5676 購入電気の排出係数 (0.457Kg-Co2/kwh)	○	次年度も継続して取り組む
2	産業廃棄物排出量の削減 (目標値:16.6以下)	20.9	×	新減容機の押込機のボルト混入恐れにより 8.5t廃棄物となり未達。減容機不具合改善により目標達成する。
3	リサイクル量の増加に努めます。 (目標値:97%以上)	90.0%	×	減容機の不調と前年滞っていたリサイクル品を産廃で処理し未達。減容機不具合改善と安定稼働を行う。
4	節水に努めます。 (目標値:358以下)	319	○	次年度も継続して取り組む
5	化学物質の使用量削減に努めます。 (目標値:0.28以下)	0.238	○	次年度も継続して取り組む
6	環境関連法規による規制を遵守します。 (目標値:違反なし)	違反なし	○	次年度も継続して取り組む
7	自社が生産する製品の収率向上を推進します。 (目標値:3.4%以下)	3.2%	○	省エネ条件適応するが、品質調整が難しく不良増加。条件を元に戻すが慢性不良削減も頭打ち。慢性不良改善と省エネ条件検討する。

※ 判定は、達成:○ 未達成:×を記入する。

※ 原単位:製品(t)当りの使用量

・項目別排出(使用)量の推移

年 度	2020年度	2021年度	2022年度	2023度
二酸化炭素排出量 Kg-CO2	9,500,103	8,981,000	9,149,370	9,015,236
産業廃棄物排出量 (Kg)	18,140	24,950	40,199	33,149
総排水量 m ³	416,347	481,700	507,031	506,737
化学物質使用量 (Kg)	425	342	330	378
生産量(t)	1580	1598	1628	1588

7. 2024年度環境活動計画

	環 境 目 標	環境活動計画
1	二酸化炭素排出量の削減を推進します。	① 省エネ成形方式の製品毎の最適条件設定と省エネ条件適合品種の拡大。 ② 不良品削減によるロスショット削減(継続)
2	産業廃棄物排出量の削減を推進します。	① 更新減容機の安定稼働と稼働率 up による有価物化の増加 ② 分別の徹底による有価物化の増加
3	廃棄物発生量の削減、リサイクル化を推進します。	① 成型工程での不具合品の早期発見と適時是正処置と再発防止策の実施 ② 台車積載時の割れ、欠け・汚れ防止策の検討と実施 ③ 品切廃棄ビーズの削減 ④ カット端材のリサイクル化検討の支援
4	用水の有効活用、節水を推進します。	① 金型冷却水温維持と放流(ブロー)の温度管理の徹底
5	化学物質の適正管理、使用量削減を推進します。	① 成形機架台の定期的な清掃による油汚れ付着の低減(継続) ② 適性な離型条件調整による離型時油付着の防止
7	環境関連法規による規制を遵守します。	① 自社チェックシートに基づき確認 ② 大気、排水、騒音に関する環境測定値に関しても定期的かつ継続的に確認
8	自社が生産する製品の収率向上を推進します。	① 工程検査員の工程巡回による不具合品の早期発見及び流出防止(継続) ② 欠員補充の実施(継続)

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

	該当する環境関連法規	遵守評価
1	廃棄物の処理及び清掃に関する法律	違反なし
2	エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)	違反なし
3	浄化槽法	違反なし
4	栃木県地下水揚水施設に係わる指導等に関する要綱	違反なし
5	フロン排出抑制法	違反なし
6	騒音・振動規制法	違反なし
7	消防法	違反なし

当社に関わる環境関連法規等の遵守状況を2024年4月01日に評価した結果、違反はありませんでした。また、関係当局からの違反の連絡も指摘もありませんでした。同様に訴訟は創業以来1件もありません。

9. 代表者による全体評価と見直し結果

	項 目	見直しの有無	評価コメント
1	環 境 経 営 方 針	無	環境経営方針の変更は行わない。
2	環 境 経 営 目 標	有	環境経営目標は、2023年度の実績を考慮して見直しを実施した。
3	環境経営運用マニュアル改訂の有無	無	外部審査及び内部審査結果を踏まえ必要に応じて見直しを行うこと。
4	環境経営活動計画	無	活動内容は変えないが、全目標達成すべく、各活動を確実に実行すること。
5	実施体制の変更	無	来年度も現行の実施体制で行う。
6	環境関連法規の遵守	無	環境関連法規一覧表を再確認し、漏れ等がないことを確認すること。
7	全体評価コメント	—	まだまだ改善の余地はある。環境経営目標達成が事業存続に繋がると考え、目標必達に拘ること。

以 上